

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ バ 細	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	備考
			H30事業内容	H30事業内容					
1 ①	道路景観整備事業	H24～H30	[はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア（市立球場や野外劇場、ビーチがセンター、ホテルなど）と国道58号を接続する市道を、良好な景観を形成を目的として道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。]	[主要観光道路（市道）景観整備（真志喜26号）約621mの整備歩道部：舗装改良、車両乗入口改修、外灯設置、樹木移植、植樹（プランター）設置]	[H31成果目標】 豊かな観光地としての景観形成が実現されたか（80%以上）を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方にについて検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 横ね肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方にについて、アンケートにより検証する。	【H31成果目標】 道路景観整備対象路線の整備完了	【今後のスケジュール】 良好な景観形成を目的とした道路整備を行うことで、コンベンションエリアへの来客の増加や、歩行者の安全性、快適性の向上を図る。	
1 ②	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24～H33	沖縄の伝統芸能であるカチャーシーの保存継承を図るとともに、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を開催し、観光誘客を図る。	[はごろも祭り・カチャーシー大会への支援]	①カチャーシー大会演舞者数：個人の部：50名、団体の部：25団体 ②はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数：150,000人	【今後のスケジュール】 同大会を継続して開催することにより、市民意識の高揚と親睦を深め、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。		
1 ③	企画展開催事業	H24～H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めもらうため、普天間飛行場をとりくむ歴史を中心企画展を開催し、市歴史・文化の継承及び観光誘客を図る。	企画展を開催：2本	企画展1本あたりの平均入館者数：1,300人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上企画展を開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。		
1 ④	宜野湾市産業まつり支援事業	H24～H33	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりへの支援	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人	【今後のスケジュール】 来場者数の増加に向け、まつりの開催時期、内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。		
1 ⑤	文化財説明板・標識設置事業	H24～H33	観光振興及び文化教育に資するため、市指定登録文化財の所在地に標識や説明板を設置し、市民等が学べる機会を増やし、市の歴史・文化の継承を図る。	文化財標識・説明板設置件数：2件 文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板：1件 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財標識・説明板設置件数：2件 文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板：1件 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	【平成31年度成果目標】 地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上	【H31成果目標設定の考え方】 類似の学習会（市文化課主催の文化財教室）等を参考に設定した。	【今後のスケジュール】 地域市民の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められるこにより、文化財を活かした「地域学習」や「地域づくり」に反映され、地域に愛着と誇りを育む地域アイデンティイ創出の糸口となる。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		備考
			H30事業内容	H30活動目標(指標)	
1 ⑥ 琉球海炎祭支援事業	日本で一番早い夏の大花火をキヤツチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナルテーマに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	H25 ~ H33	①琉球海炎祭来場客総数:15,000人 ②①のうち県外客数:6,000人 ③①のうち海外客数:2,000人	【今後のスケジュール】 イベント開催することにより、観光・コンベンション機能の充実を図り、認知度向上のため、PRを継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1 ⑦ 横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニケーション事業	プロ野球のキャンプは、温かい中綱であります。横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海滨公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信することにより、キャンプ期間中の観光誘客を図る。	H25 ~ H33	植樹する花の苗 (10,000鉢)	【今後のスケジュール】 キャンプ見学者数増加に向け、当該イベントを継続して開催し、情報発信強化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1 ⑧ トロピカルビーチ賑わい創出事業	本市の観光資源であるトロピカルビーチミニージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	H26 ~ H33	イベントの開催	【今後のスケジュール】 当該イベント来場者数増加に向け、企画内容を充実させ、西海岸地域における新たな観光スポットとして定着を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1 ⑨ 宜野湾海滨公園施設等再整備事業	地域住民の福祉の向上、質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保及び観光誘客を図るため、宜野湾海滨公園及びその周辺の整備を行う。	H30 ~ H33	・宜野湾海滨公園のリニューアル基本構想・基本計画の策定(市民意向把握、基本方針の決定など) ・宜野湾海滨公園屋外劇場整備基本計画の策定(利用者意向把握、施設の規制・内容の決定、利用計画など)	【H34成果目標】 施設利用者数:666,000人 【今後のスケジュール】 H31 基本計画策定 H32 施設整備工事完了 H33 整備工事完了	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標): 平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
H30成果目標(指標): 平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ 固	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	H30活動目標(指標)	備考
			H30事業内容	H30事業内容			
1 ⑩ ベイスターズキャンプ支援事業	ブルペンと内野練習場を整備し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	H30	・屋外ブルペン、内野練習場の整備	ブルペン及び内野練習場の整備完了	【H31成果目標】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿説教件数 3件 【今後のスケジュール】 ・継続したキャンプ誘致に向けて受入れ体制を確実なものとし、他事業とも連携してキャンプ開催施設のさらなる強化を図っていく。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
1 ⑪ 嘉数高台公園施設整備事業	戦跡等があり鏡光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るために、公園施設の整備を実施する。	H30～H33	・嘉数高台公園整備基本計画の策定 (現況把握、基本方針の決定など)	嘉数高台公園整備基本計画の完成	【H34成果目標】 ・利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方にについて検証する。 【今後のスケジュール】 H30 基本計画策定 H31 基本・実施設計完了 H32 整備工事実施 H33 整備工事完了	【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大半が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定しました。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証する。	
1 ⑫ プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	スコアボードの整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	H24～H31	・既存軸体を活用した電光掲示板化	スコアボード改修実施設計(既存軸体を活用した電光掲示板化)	【H31成果目標】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿説教件数 3件 【今後のスケジュール】 H31 スコアボード改修工事完了	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
2 ① スクールソーシャルワーカー	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携を密にし問題を抱える子どもを整理、強化し問題を抱える子どもの支援及び不登校の未然防止、減少に取り組む。	H24～H33	（学年配置、セントラル配置のコーディネーター、アドバイザー）の業務分担連携を整理、強化し問題を抱える子どもを整理、強化し問題を抱える子どもの支援及び不登校の未然防止、早期対応に向けた児童生徒の支援に取り組む。	【今後のスケジュール】 不登校の未然防止や早期支援には学校及び関係機関の情報連携が不可欠であり、相談、体験活動等による寄り添い支援も必要となる。具体的な連携と寄り添つ支援に力を入れ、支援の必要性を子ども達に対応出来る仕組みを確立していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。		

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ 組	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	備考	補足説明等
			H30事業内容	H30活動目標(指標)				
2 ② 適応指導教室事業	教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流を通じて、適応指導教室を充実させ、個別学習に勉強の遅れを取り戻し、児童生徒の学校復帰、適応を支援する。	H24～H33	適応指導教室との連携で児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 適応指導教室在籍児童生徒数：4名	適応指導教室に通級している児童生徒の率 20%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での体験交流や講師を招いての実績を参考に設定した。 過去の実績を参考に設定した。			
2 ③ 児童生徒等相談事業	市内在住の18歳までの児童生徒及び保護者等の拘えある教育上の問題について、相談支援のため青少年教育相談指導員、臨床心理士を配置し、不登校等の減少を図る	H24～H33	配置された臨床心理士と青少年教育相談指導員が、スクールソーシャルワーカーと一緒に連携し、問題行動の未然防止や適応指導教室との連携により不登校児童生徒の学校復帰につなげる。	臨床心理士、青少年教育相談指導員の相談対応を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 18%	【今後のスケジュール】 SSWとの連携により問題を抱える子ども早期支援につなげるために学校訪問を増やす相談支援につなげる。また、個人相談から小集団グループ、適応指導教室へと学校復帰に段階を経て支援していく。			
2 ④ 非行防止等巡回活動事業	児童生徒の健全育成の観点から、関係機関や地域と連携して児童生徒の問題行動に対して必要な不登校へと進む児童生徒の向いの未然防止に努める。	H24～H33	現在巡回している公園を中心としたボイントに加え学校との連携により必要箇所の巡回にも対応し、問題行動から不登校へと進む児童生徒の未然防止に努める。	夜間街頭指導件数 前年度比 12.1%減	【今後のスケジュール】 スマートフォンの普及により事件事故に巻き込まれる青少年が増加している。 児童生徒等を取りまく社会環境に働きかけ信頼関係を築き必要な指導、助言をおこなう。			
2 ⑤ 学習支援員活用事業	学習に迷れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	H24～H33	学習支援員の配置：13校13人 学習支援員の配置：9人・中学校4人 小学校9人・中学校4人	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語：+2.2ポイント以上 算数：+3.0ポイント以上 ・中学校 数学：-1.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 H32年度までに、宜野湾市総合平均と県平均との差を小学校は+5%、中学校は±0%。			
2 ⑥ 派遣費補助金交付事業	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	H24～H33	県外派遣された団体への支援を実施 支援団体数：15団体 (文化活動団体数：5団体、スポーツ活動団体数：10団体)	対象児童生徒の視野が広がったか (80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～H33の支援団体見込数は、概ね45団体 各年度：15団体			

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 パ　細	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	H30成果目標(指標)	備考
			H30事業内容	H30活動目標(指標)			
2 ⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を支援する。	県外へ派遣された団体等への支援を実施する。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に對してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】引き続きスポーツ少年団等への支援を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる点として設置した、また、アンケートにより検証する。
2 ⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28～H33	宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣員派遣(幼稚園:15人、小学校45人、中学校20人)の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】H30以降の配置 特別支援教育支援員の配置:幼稚園(幼稚園)15人、小学校9校45人、中学校20(9箇)人。対象となる幼児児童生徒の保護者へアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【H30成果目標設定の考え方】対象児童生徒の保護者のうち、大多数が満足していると考えられる値として設置しました。また、本事業のあり方にについて、アンケートにより検証する。
3 ①	文化財保存整備事業	H24～H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。	①小保墓石彫香炉等の修復・複製・3D計測 ②野嵩クシヌカーの土質調査、詳細測量、実施設計:1件	①小保墓石彫香炉等の修復、複製、3D計測の実施、完了 ②野嵩クシヌカー実施設計の完了	【H31成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 ①小保墓 H30年度:香炉等の修復、複製、3D計測 H31年度:公開 ②野嵩クシヌカー H29年度:基本設計完了 H30年度:実施設計完了 H32年度:工事等完了 H33年度:公開	【H31成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。
3 ②	歴史公文書等整理・活用事業	H24～H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行ない、公開基準を基に順次公開を行うことで、市民等の市の歴史・文化等への理解を深める。	・歴史的価値を有する公文書等の整理:250冊 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開	【今後のスケジュール】 公文書と写真整理を完結して整理を完了させ、公開できる簿冊等を増やすと共に、歴史公文書の順次公開していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
 H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ バ バ	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	備考	補足説明等
			H30事業内容	H30活動目標(指標)				
4 ① 平和市民啓発事業	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣するなど、平和祈念事業を行う。	H24～H33	平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 また、本事業のあり方にについて、世代や市民の平和についての理解を深める。	【今後のスケジュール】 H24～H33年度 平和学習派遣：各年度8人 累計80人	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大半が理解が深まったと答える値として設定した。また、本事業のあり方にについて、アンケートにより検証する。			
4 ② 小学校英語教育課程特例校事業	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	H24～H33	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 ・全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	【今後のスケジュール】 平成33年度までに ①小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 81%以上 ②小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.6ポイント以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。		
4 ③ 外国人教師招致事業	外国人英語指導助手(ALT)を中心とした個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	H24～H33	外国人英語指導助手(ALT)を中心とした個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 ・全中学校(4校) (各中学校1人配置)	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語：+1ポイント以上	【今後のスケジュール】 平成33年度までに 沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語：+3ポイント以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
4 ④ 学校ICT活用指導支援事業	ICT活用支援員を派遣し、教員がICT(教育用PC、電子黒板及びプロジェクター、デジタル教材など)を授業で活用できるよう支援を行い、わかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保を図る。	H24～H33	ICT活用支援員を派遣し、教員がICT(教育用PC、電子黒板及びプロジェクター、デジタル教材など)を授業で活用できるよう支援を行い、わかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保を図る。	ICT活用主任嘱託員1名、補助員1名配置 ・ICT支授員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業が分かれやすく始めたか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ・ICT支授員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方にについて、アンケートにより検証する。		

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業をあらわしたもの。
H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	備考	補足説明等
			H30事業内容	H30活動目標(指標)					
5 ① 市民防災事業	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧及び飲料水の備蓄や自主防災組織の強化、観光客等向けの津波避難誘導表示板の設置を行い、適切な被災者支援を図る。	H27 ~ H33		① 保存食及び保存水の備蓄 ・H30年度備蓄率75% ・H30年度保存水備蓄率19% ② 津波避難誘導表示板設置完了 ③ 自主防災組織への資機材整備完了 (2 団体)					
5 ② 防災情報システム整備事業	大規模災害時ににおいて、避難所間の情報収集、共有を目的に、適切な被災者支援を行いため、高速無線LANネットワークの構築や沿岸監視カメラの設置等、総合的な防災情報システムの整備を行う。	H29 ~ H31							

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
 H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ バ	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	備考
			H30事業内容	H30活動目標(指標)			
6 ①	普天間飛行場跡地利用意向調査)	H24 ~ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民に向かって情報提供や市民による等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミニーティング」や「若手地権者等によって構成される「若手の会」」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	若手の会、NBミニーティングの定例会等の活動支援を行う。 字海の意見交換会やホームページ等を通じて、関係地権者や市民へ情報を発信する。	調査内容報告書の作成	【H32成果目標】 跡地利用計画(要素)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大半が肯定的な評価を得られたと考へられる値として設定した。
6 ②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ~ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	今後の計画の促進、県内外に向けたとの合意形成の促進、「跡地利用情報」の発信	跡地利用計画(要素)に反映させる配置方針図の更新の検討	【H32成果目標】 跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【今後のスケジュール】 平成29年度 配置方針図の更新検討 平成30年度 配置方針図の更新 平成31年度 跡地利用計画(要素)策定	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大半が肯定的な評価を得られたと考へられる値として設定した。
7 ①	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ~ H33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行い、農家の生産量の増加を図る。	H30年度申請件数：19件	被覆資材等導入面積：26,500m ²	【H31成果目標】 被覆資材等を導入したことによる生産上昇率3%	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
8 ①	多様な働き方就労支援事業	H28 ~ H30	子育てや介護など家庭の事情などで從来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	就業希望者に対し、就職に優位なスキルを取得させる。	・支授者のうち新規就労に繋がった人數20名以上 ・支授者のうち新規就労に繋がった割合39%以上	【今後のスケジュール】 引き続き就労支援事業を実施し、多様な働き方につながる雇用機会を創出していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 パ　細	事業名	計画期間	事業概要		H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)	備考
			H30事業内容	H30事業内容			
9 ①	宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28～H32	支援が必要なひとり親世帯の世帯に対し、住宅支援や就労支援を行う。 自立に向けた支援を行う。	・生活支援コーディネーターによる就労支援及び生活全般の相談・同行支援 ・支援対象者 10世帯以上	支援対象者のうち自立につながった割合 80%以上	【今後のスケジュール】 支援対象者 H30年度 10世帯 H31年度 10世帯 H32年度 10世帯	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
10 ①	宜野湾市情報通信産業振興施設設計画策定事業	H30	平成29年度実施「宜野湾市情報通信産業振興施設PTI基本構想」。 事業手法検討調査業務の結果をふまえ、施設の基本計画の検討及び民間活用型事業としての事業推進のための準備を行う。	情報通信産業振興施設設計画の策定 (事業手法等の確定等)	基本計画策定完了	【今後のスケジュール】 基本構想 H29年度：基本計画策定 H30年度：基本構想に基づき整備した情報通信産業振興施設における入居事業者数:3件 H31～32年度：基本構想に基づき整備した情報通信産業施設設備に係る各種事業を実施 H33年度：供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 既存施設の過去の実績を参考に設定した。
11 ①	宜野湾市都市構造基礎調査事業	H30	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接收)により、本市の都市構造は市街化が至らざる形で進展し、不健全な都市構造にならざるを得なかった。普天間飛行場など返還された本市全体の土地・利用の基本方針や交通施設、公園緑地の配置基本方針や市街地の整備方針、自然環境の保全等を定めるための基礎調査を行う。	宜野湾市の現状把握 ・都市構造の現状把握 ・市民意向調査 等	基礎調査の完了	【H31以降成果目標】 基礎調査結果を基に策定した各分野の計画にて設定した目標とし、各種施策を実施する。	【H31以降成果目標設定の考え方】 本事業において実施する各分野の計画に基に策定予定であるため、当該計画に基づき目標を設定するため、当該計画に基づき各種施策を実施していくことを目標として設定した。
12 ①	地域キャラリア教育支援事業	H30～H32	地域の企業、学校、保護者等が連携した「未来を広げようグッジョブ体験inぎのわん連絡協議会の開催(3回)」を催し、子どもたちが抱える課題の解消をめざす検証をし、小学生から高等学校在学生を対象にした職業体験イベント等を実施する。 ことで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・未来を広げようグッジョブ体験inぎのわん連絡協議会の開催(3回) ・小学校、中学校、高校毎に職業体験プログラムの実施	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方にについて検証を行う。 【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャラリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連絡協議会の活性化を図っていく。 【H30成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられたものにありました。また、本事業のあり方にについて、アンケートにより検証する。	【H30活動目標(指標)】 平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行った期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。	

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	備考	補足説明等
			H30事業内容	H30活動目標(指標)				
13 ①	宜野湾ペイサイド情報センター整備事業	H30～H32	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事務者のインストップ相談窓口として位置付けながら、宜野湾ペイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	空調機工事実施設計の完了	【H33成果目標】 入居企業数 10社 【今後のスケジュール】 平成30年度：空調機工事の実施設計 平成31年度：空調機工事、防水工事の実施設計 平成32年度：防水工事			【H33成果目標設定の考え方】 入居率100%を維持することを目標として設定した。
14 ①	市民会館機能強化事業	H30～H32	建設から35年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利便しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術鑑賞に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	・大ホール等天井落下防止設計 ・舞台照明設備機能強化工事 ・客席ダウナライトLED化設計 ・客席ダウナライトLED化設計 ・舞台機構機能向上工事設計 ・3階トイレ改修工事設計 ・低圧動力盤等改修工事 ・3階トイレ改修工事 ・低圧動力盤等改修工事 ・H33:客席等機能強化設計及び工事	【H34成果目標】 年間利用者数 66,776人 【今後のスケジュール】 H30:大ホール等天井落下防止設計 舞台照明装置機能強化工事 客席ダウナライトLED化設計 H31:大ホール等天井落下防止工事 客席ダウナライトLED化工事 舞台機構機能向上工事設計 H32:舞台機構機能向上工事 3階トイレ改修工事 H33:低圧動力盤等改修工事設計			【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
15 ①	宜野湾市産業振興計画策定事業	H30	平成26年度から平成30年度までの宜野湾市産業振興計画の効果等をふまえ、更なる産業振興を図るために、次の5年間の新たな産業振興計画を策定する。		・既存の本市産業振興計画の検証 ・本市の現状と課題 ・新たに5年間の計画策定			【H30以後成果目標】 策定した産業振興計画の中で、産業振興に係る指標を設定し、当該指標を目標とした産業振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 策定された産業振興計画に則つて事業を進め、産業振興の発展、雇用創出、街の賑わい創出を目指す。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果を示すもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものをお記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市			事業概要			備考	
事業番号	事業名	計画期間	H30事業内容	H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
16	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るために、宜野湾市特定駐留軍用地内土地取得事業基盤を設置し、早急に公用地を確保する。	・基金の積立	【今後のスケジュール】 特定事業の用に供する土地取得目標 18,000m ² (達成率約60.0%) ※達成率：先行取得目標面積(115,000m ²)に対する累積取得面積の割合	【返還後の跡地利用の推進を図るべく、平成33年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得を勘案し設定した。 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
 H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

